

「麻・藍・布」歴史の結びつきを今日に再生するまちづくり

滋賀県 愛荘町 まちづくり推進室 ○林 定信
滋賀県麻織物工業協同組合 田中由美子

1. 活動方針・目的

古来、日本人が深く関わってきた「麻」と「藍」。その魅力を再発見し、日本文化のルーツを楽しみながら感じてもらうための体験型イベントを実施し、地域の文化資源を広域に発信する。群馬県東吾妻町、徳島県藍住町ならびに本町、県域を越えたこれら三町が歴史の結びつきを現代に再生し連携することによって、相互の文化の発展に寄与し、観光・産業等の振興をはかる。

2. 活動内容

初年度の東京展を皮切りに三町が回り持ちで、本物の体験、展示、販売等を実施する。事業趣旨に沿った他地域の団体等の参加も促し、事業を拡大していく。

〔東吾妻町（群馬県）・藍住町（徳島県）・愛荘町（愛媛県）三町合同企画展〕

年度	会 場	内 容
H21	東京都渋谷区 三木武夫記念館	東吾妻町：麻の展示、麻挽き体験など 藍 住 町：藍染の体験、展示、藍染商品の販売 愛 荘 町：麻織りの体験、麻布の展示、 奈良県奈良市月ヶ瀬奈良晒
H22	徳島県藍住町 藍の館	上記 + 山形県河北町の紅花染
H23	滋賀県愛荘町 近江上布伝統産業会館	〃
H24	群馬県東吾妻町 コニファー岩櫃 徳島県藍住町 藍住町コミュニティセンター	〃 上記+山形県河北町の紅花染、久留米緋、河内木綿・シンポジウム

3. 他の活動団体の参考となる事例

本町の「近江の麻」は数百年の長い歴史のあるとはいえ、産業である。しかしながら、東吾妻町の麻は群馬県選定保存技術、文化財である。阿波藍はその中間に位置する。三町は、事業当初から微妙に立ち位置が異なり、本事業に期待するものもかなり違ったように感じる。しかしながら、強いてその矯正はせず、その違いを認め合ったうえで、人と人との信頼関係の中で課題を乗り越えてきた。そのことが、結局は4年間この事業が継続できた最大の理由であったと思う。

4. 今後の課題等

奇縁から三町が結び付き、初回の東京での成功によって、とりあえず三町を一周することを目的として継続してきた事業であり、今年度で一応完結した。この間、ふるさと雇用再生特別推進事業など経済対策をうまく活用できたが、厳しい財政状況のなかで、漫然と事業継続することは難しい。新しい展開を探っていく必要がある。

「麻、藍、布」 歴史の結びつきを 今日に再生するまちづくり

滋賀県愛荘町役場 まちづくり推進室
林 定信



愛荘町

滋賀県の東部に位置する。

面積 37.98km²

人口 21,095人

世帯数 7,211戸

○田園地帯

○中山道愛知川宿

○湖東三山 金剛輪寺



愛荘町全景(西より扇状地・鈴鹿山系を望む)

近江上布



麻
上州「岩島麻」
群馬県東吾妻町

藍
阿波「藍染め」
徳島県藍住町

布
近江上布（高宮布）
滋賀県愛荘町

東吾妻町・藍住町・愛荘町
お江戸見参
三町合同企画展

2009.9.20(日) ▶ 27(日) 三木武夫記念館
11:00~18:00 (27日のみ15:00まで) 入場無料

主催 ●東吾妻町教育委員会 / 藍住町教育委員会 / 愛荘町教育委員会
協賛 ●群馬県教育庁 / 群馬県立博物館 / 徳島県教育委員会 / 徳島県立博物館 / 徳島県立歴史民俗資料館 / 徳島県立歴史民俗資料館 / 徳島県立歴史民俗資料館 / 徳島県立歴史民俗資料館
問い合わせ ●三町教育委員会
(東吾妻町教育委員会 TEL.0279-59-3370 / 藍住町教育委員会 TEL.088-637-3128 / 愛荘町教育委員会 TEL.0749-37-4110)

○群馬県吾妻郡東吾妻町
「麻(岩島麻)」

○徳島県板野郡藍住町
「藍(阿波藍)」

○滋賀県愛知郡愛荘町
「布(高宮布)」



日本一の岩島麻
： 群馬県東吾妻町



「藍」によるまちづくり : 徳島県藍住町

近江上布伝統産業会館での展開 : 愛荘町



「麻・藍・布」(三町+α)が 手を携えて



群馬県東吾妻町



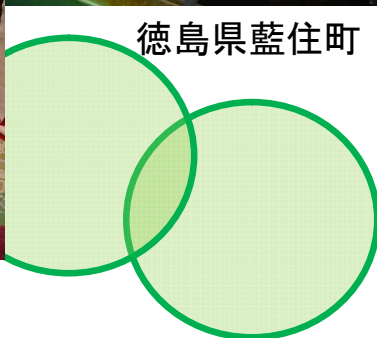
徳島県藍住町



山形県河北町 紅染処鈴正



奈良市月ヶ瀬



滋賀県愛荘町

地域(文化)資源としての近江麻布

近江麻布が手工業として成立し続けることが最も重要なこと。技術伝承等も非常に厳しい状況にあるが、「文化財」にしない、保護の対象としないための方策が必要。

愛荘町では、「まちづくりの卵」となる地域(文化)資源を認定して、育てていくことを検討しているが、「近江麻布」はその主要なものの1つ

集落史



愛知川びん細工
手まり

近江
麻布



有線放送録音記録



菓子型



村芝居



近代建築物